

本宮中学3年23人が町民として考えた

日本、世界中から

世界遺産・熊野の拠点

「本宮にいらしやい！」

5つの「集客」プラン



その1

人気をあと押し！

外国人向けPR戦略



民家案内所にはるステッカー例

その2

住民みなでおもてなし

民家を観光案内所に

その3

閑散期を盛り上げる

目玉イベントの創出！



その4

オールシーズン楽しめる本宮

穴場の魅力、発掘しよう

その5

伝統の味&新名物を売り出そう

経済効果を高めよう



八咫鳥
クレープ



湯の峰温泉がゆ

本宮町は観光客が増えるようにがんばってきたいと思っています。でも、私たちは、違います。今ある本宮町をきれいに、楽しくなるように考えてきました。ここに、その提案を書きました。どうか、読んでくださいませんか？

ふるさと本宮の将来のために

私たち、本宮中学校3年生は私たちのふるさと本宮への観光客を増やし、維持するために色々考えました。

まず「外国人家族向けのパンフレット」を作成すること。さらに町中の「一般民家や店を観光窓口」にしてはどうでしょう。その協力してくれる所にステッカーを貼ります。それから今までにないイベントとして「世界一の花火大会」を開くことや、春夏秋冬いつでも楽しめる町にしようと色々考えました。

それと新たな味覚も大切。本宮名物「八咫鳥クレープ」を作ってはどうでしょうか。

これらのプランを少しでも育てて、本宮町のイメージアップにつながればと提案します。

人気をあと押し！

外国人向けPR戦略

その1

世界の本宮町になるために

「外国人観光客が増えていくが・・・」

「家族向けの情報を

もっと発信！」

熊野古道が世界遺産に登録されました。そのことで観光客の様子もずいぶん変わってきただけです。それは、国内の観光客に加え、海外からの観光客が増えたことです。

しかし、海外からの観光では本宮町の観光スポットを十分に回ることができず、本宮町のよさを理解できないまま

「設置されているパンフレットに問題があるのではないで

しょうか。」仮に私たちが海外に旅行したとします。その時、頼りにするのは現地でのパンフレットや、ガイドブックでし

よう。しかし、それは日本人にとって日本語でなければ意味がないと思います。

それと同じで、日本に来る外国人旅行者に対して自分の言葉で書かれているパンフレットやガイドを作成すれば、もっと安心して本宮町を楽しんでもらえるのではないでしょう

現在、本宮町に置かれているパンフレットは英語や、韓国語などさまざまな言語で翻訳されていますが、家族向けの情報がないように思いました。子供連れの観光客にも役に立つ情報を載せればもっと、海外からの子供の観光客が増え、本宮町が栄えると思います。

「きめこまかな

外国人向け案内を」

また、自然を利用したアトラクションの多い本宮町ですが、面積が広いので、熊野古道の入り口や山道などに、英語で表示された道しるべを設置してはどうでしょうか。また、道の駅など、人と触れ合えるところに外国人のガイドがいたらもっと本宮町を活動的に楽しめるでしょう。

本宮町は世界でも有数の世界遺産の宝庫です。熊野古道や、熊野本宮大社など代表的な場所をアピールする報道番組などを企画し、海外のメディアで流してもらえると、本宮に世界からたくさんのお客様が来てくれるはず

町も人も美しく

住民みんなでおもてなし

その2

「きしゅう君の家」のように町中に気軽な案内所があったらいいな

「一般の店や民家も

観光案内所に」

案内体制を充実させるために、一般の店や民家なども道案内役として観光客を受け入れてもらうことはできないでしょうか。協力してくれる家には「きしゅう君の家」のように、目印のステッカーを貼ってもらってはどうか。

「こみのない町、活動推進！

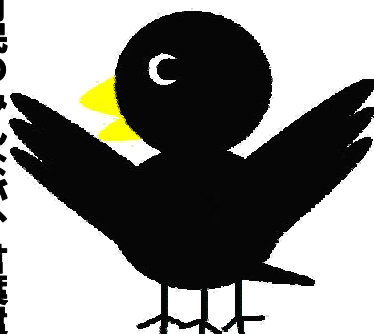
定期的

にリサイクルバザーを開催を」

本宮町の美しさを維持するため、地域的に清掃意識を積極的に持ち続けるイベントが必要だと考えます。ごみを増やさないために、家庭で使わなくなったものを地区別で集めて、一つ大きなバザーを開けないでしょうか。

「ごみ箱を町の所々にもっと置いたほうがよいのでは」

本宮町はゴミ箱が少なすぎるのと、住民も体験して感じている人が多いようです。よく人が通りそうな所や人がよくいる場所であればいいと思います。



「町民のみんなが、言葉遣い、礼儀を正しくするために

集会を！」

町民は言葉遣い礼儀を正しくし、観光客の方々にあって、気持ちのよい接し方をするよう心がけてほしいです。そのために集会などを開いてはどうでしょうか。

「自由に持っていける分かります地図、標識を見やすいところに設置してほしい」

これまでに作られた地図はどうかはあまり知りませんが、すごく分かりやすい地図、標識があれば。また、配布資料や標識が置かれるとよい場所は、迷いやすいところや本宮町に少し入ったところだと思います。

その3 あつまれ、僕らの本宮町 客が少ない閑散期を盛況に



【本宮町の代名詞 大鳥居】

「世界一の大鳥居で
花火大会」

私たちは、本宮町観光客が少ない時期をどのようにして集客するかを考えました。まず考えついたのが、今までにない取り組みやイベントを行うということです。

私たちが提案したのは、大斎原にある世界最大の鳥居をバックに花火大会をすることです。

花火大会のテーマも、「世界一の鳥居と花火」と「世界一」というところに着目しました。今までの本宮町には、大きな花火大会がなかったの、これをするることにより訪れる人が増えるのではないかと考えました。

その4 自然と四季、年中楽しめる町に 穴場の名所、発掘しよう！



【七越からの眺め】

「絶景！七越から
見下ろす本宮町」

本宮町名勝八景のひとつで熊野川対岸にある七越の峰はハイキングコースで、春に桜が美しいのが有名です。しかし私たちはそこから少し上ったところにある本宮町が一望できる絶景スポットを紹介したいと思います。そこに行くくと山々に囲まれた熊野本宮大社や旧社地、役場や中学校など、緑に豊かな本宮の里が一望することが出来ます。写真に収めるのはもちろん、ここから見る景色を一目見るときつと心に残る景色になると思います！

その5 経済効果を高めよう 味な新名物を開発！「八咫鳥クレープ」

伝統の味をもっと売り出そう！
【湯の峰の温泉がゆ】

僕たち本宮中学校3年生は、本宮町発展のために色々考えた結果、本宮名物八咫鳥クレープを提言します！！

①八咫鳥は黒いので生地にはココアを入れます。生地に八咫鳥の焼印を押します。中身は生クリームとみかんとチョコクリームとバナナとコンフレークとパイナップルを入れます。

②生地は、普通にします。生地に八咫鳥の焼印をし、中身はもちとアムコと生クリームとイチゴを入れます。

これで『ガツパリ儲けます!!』
それで本宮町発展を図るという作戦。どうか御協力宜しくお願いします。



【クレープの特徴・こだわり】
和歌山の特産品を取り入れ、八咫鳥をイメージとしたクレープです。

★民宿あづまや荘さんの温泉粥★

私が紹介するのは、民宿あづまや荘さんのお粥さんです。

お粥さんは、多々色んな場所です。売られています。その中でも、あづまや荘さんのお粥さんはおいしいと評判です。「温泉の独特の風味をいかした上で、ご飯の硬さがちょうどいい！」など、数々の声を聞きます！実際、私が食べた所、その通り、とてもおいしくいただきました！ぜひぜひ、ご賞味下さい。



【湯の峰の温泉がゆ】

職場体験を通して考えた本宮町の未来

本宮大社の巫女体験記

塚 憂妃

私と本宮大社は昔からあまり関わりが無く、正月にお参りに行くくらいでした。

しかし、本宮大社が世界遺産になり、観光客の人たちがたくさん訪れるにつれて「自分のこんな身近に凄いものが建てられていたんだ」と驚き、誇りに思いそれと共に「こんなに貴重なものなら本宮町民としてよく知っておきたいなあ」とずっと前から思っていました。だから、ちょうどこの体験学習という授業がきたときは、「本宮大社のことを知る良い機会」だと思い、何をするかも知らなかったけど思い切って大社へ実習しに行きました。



1日目は、やっぱりやる事なす事全てがガチガチで、教わったことを忘れないようにするの

ふるさと・本宮町がもつと魅力のある町であるために必要なことは何だろう。体験を通して考えてみました。世界遺産に指定されていることもあり、「観光」に焦点をあてています。

本宮町に「お客さんを迎え入れる」ということでビジネスマナーも学び、職場体験に臨みました。それぞれの職場の利用者は地元の人ばかりであったり、観光客ばかりであったり、また両者であったりと、本宮町は観光地であるということを確認できてもらったりと凄く勉強になりました。4日間巫女さんの傍で実習させてもらった分、憧れの情も出てきていたので、赤い袴を着けたときはとても嬉しくなりました。最終日には巫女さんの着物を着させてもらいました。

私は今まで『社会に出て働く』ということを考えた事がありませんでした。しかし、5日間体験していて考えたことは「きつとどの仕事も礼儀は大切だろう」ということです。仕事をしている方々を見てみると、特に挨拶は一番重要なんだということがひしひしと伝わってきました。これからはよりたくさんの方と関わる機会が多くなると思うので、しっかり礼儀をわきまえていきたいと思っています。

おもてなしを私たちが実行しようと、マナー講習にも取り組みました



しました。本宮大社やその周辺の土産物屋での体験では、観光客の中にアジア系外国人が多くいたということもありました。ツーリズムビュローの浦野さんのお話にあった「欧米からの観光客を増やしていきたい」ということがよくわかるエピソードです。

23人の様々な体験をふまえて、観光客が心地よくすごせるためにどんなことをしたらいいか、全国への

パンフレット
作成
↓



↑
ツーリズムビ
ュローの浦
野さん

アピールはどうしたらいいか、新しい名物、欧米人を迎え入れたときの対応など……自分たちのふるさとをアピールし、迎え入れる準備まで考えました。ここに挙げた提言が実現されると、本宮町民もさらに本宮町を大切に、豊かな町になっていくだろうと思います。



その他、お茶さんや郵便局など、23人みんなが町を支えるさまざまな職場を体験しました

お願いです

■私たちの提言は、いかがでしたか？
ぜひ、感想や、一歩でも実現できるように声をお待ちしています。

連絡先

本宮中学校

田辺市本宮町本宮730

電話0735(42)0273